

# OPU Students 海外留学レポート

Study Abroad Report from the OPU students



## プロフィール (Profile)

氏名 (Name) 中村 元寛  
所属 (School) 現代システム科学域  
マネジメント学類  
学年 (Grade) 3 年  
留学先 (Name of overseas institution)  
エンブリー・リドル航空大学  
留学期間 (study abroad period)  
2020/2/23~2020/3/2  
記入日 (Date) 2020 年 3 月 2 日

## 留学レポート Study Abroad Report

今回、私はエンブリー・リドル航空大学 (ERAU) での Winter School に参加しました。ERAU はアメリカのパイロットの半分以上を輩出する全米有数の航空大学です。2018 年度から 2 度にわたり中百舌鳥キャンパスを中心としたバディプログラムを実施しており、多数の ERAU 生と引率教授らが本学に滞在するなど、府大とは非常に関わりが深い大学です。今回のプログラムではこれまでとは逆に府大生が ERAU を訪れるというものであり、今までに仲良くなったバディたちに再び会えるチャンスだと思い即決で応募しました。

### ● アリゾナの生活・気候

主にキャンパスがあるプレスコットに滞在しました。昔ながらの街並みが残る小さな田舎町で、気温は日本と大きく差はありませんでした。ただ湿度が低く乾燥を防ぐという意味と、標高が 1600m を超えるため高山病を防ぐという二重の意味で水分補給はこまめにする必要があると思います。必要な人はリップクリームなどを持って行った方がいいでしょう。最終日に滞在したフェニックス市内はかなり暖かい一方で、逆にグランドキャニオンや夜のフィールドワークではかなり気温が下がっているため、出発前にはそれぞれの場所の気温をチェックして防寒対策を考えるとよいと思います。街中でサボテンが生えており、日本とは植生が全く異なっていたのが印象的でした。



サボテン



Watson Lake(Dells)



キャンパスのミニチュア

### ● 現地での交流

現地の学生たちとも沢山の交流ができました。ERAU バディは全員前回 2019 年に府大でのプログラムに参加したことがある学生たちで、再会を喜びました。バディはフィールドトリップや実習と一緒に参加したり、放課後にはレストランやバーに連れて行ってもらったりしました。バディ以外にも 2018 年に府大にやってきた学生との再会のほか、授業のアシスタントを務めてくれた学生・同じ授業を聴講した学生・府大生に会いに来てくれた学生など様々な形で交流しました。現地には日本人の筒井教授や渡辺助教授も在籍されているので、困ったときにも安心だと思います。学生たちは親切でフレンドリーな人ばかりなので、積極的に話をすると思います。





一緒に行ったピザレストラン



ERAU 生との再会



## ● 研修中のプログラム

今回のメインプログラムは「アリゾナの自然の魅力を伝える」というテーマのもとで映像作成をするというものでした。360 度カメラを使って様々な素材集めをすることになります。このカメラを用いると全方位 360 度自由に視点転換が可能な写真や映像が撮影できます。フィールドトリップとして、世界遺産のグランドキャニオンやボルテックスと呼ばれるパワースポットがあるというセドナ、冥王星を発見した場所であるローウェル天文台を訪れました。広大なスケールに広がる岩々や星空には圧倒されるばかりでした。いわゆる絶景と呼ばれる景色を実際に見た時の感動を映像として伝えるには相当の工夫が必要であるように感じられました。動画編集ソフトの使い方が難しいことや編集時間がかかり制約されていたこともあり、本プログラムの中では一番苦戦したワークであったように思います。

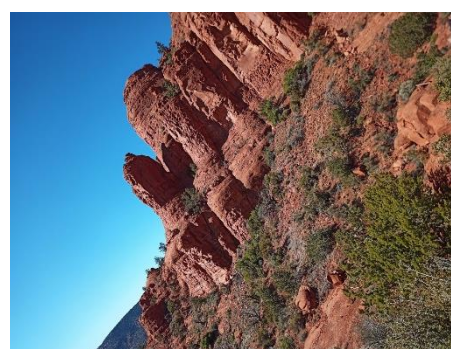
そのほかには、航空大学ならではのプログラムとしてフライトシミュレーターやドローンの操作実習がありました。フライトシミュレーターは ERAU 生がパイロットになるための訓練用として実際に用いられているものであり、本物と全く同じ操縦方法を扱いました。



グランドキャニオン



フライトシミュレーター



セドナ



360 度カメラで撮影したローウェル天文台と星空



Geocache Adventure

## ● 最後に

今回のプログラムは 1 週間と短いながら様々な場所を訪れ、府大ではあまり経験することのできないアクティビティが充実していました。

留学にも様々なタイプがあります。長期・短期の違いや、語学力を伸ばすためのもの・国際感覚を養うためのものなど、自分が何をしたいか・実現したいかで求めるものは変わってくると思います。府大には各部署・学域で様々なプログラムが実施されていますし、職員の方や留学相談カフェなどで情報や経験談を聞くチャンスはたくさんあります。条件を満たせば奨学金を複数種類もらうことも可能です。

少しでも留学に興味を持ったならば、まずは短期プログラムに参加してみるなど、自分の足で動いてみることも大切だと思います。